

シートパイル基礎工法

構造物基礎のフーチング周囲に鋼矢板（シートパイル）を配置し結合することで、耐震性・支持力性能を向上させる工法です。公益財団法人鉄道総合技術研究所、株式会社大林組と共同で開発しました。

特長

1. 基礎新設の場合

仮設土留め用鋼矢板との兼用が可能で、経済的かつ短工期。

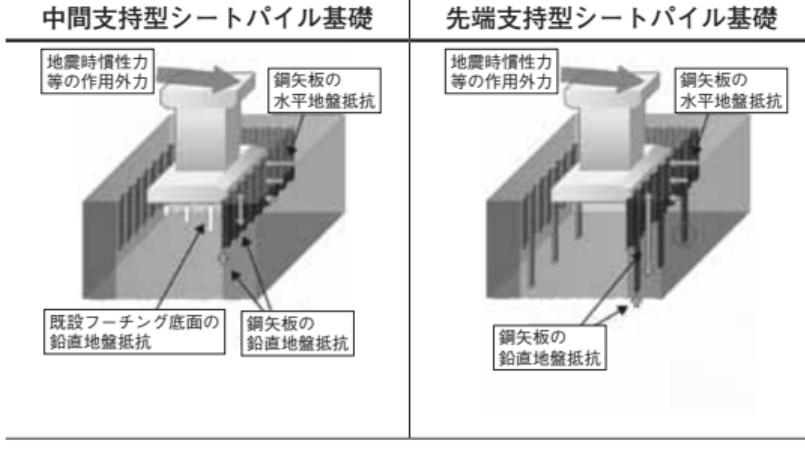
2. 既設基礎補強の場合

増し杭等の従来工法よりも経済的。

杭打ち機等の大型機械が不要で、狭隘地での施工が可能。

既設構造への影響が少なく、供用中の施工が可能。

排土が少なく、環境負荷軽減にも貢献。



施工手順

コンクリート杭基礎施工手順

- ①コンクリート杭打設
- ②仮設鋼矢板打設
- ③掘削+型枠工
- ④フーチング造成
- ⑤躯体建ち上げ
- ⑥仮設鋼矢板引抜地表面埋戻し



シートパイル基礎を用いた基礎構造施工手順

- ①②本仮設兼用鋼矢板打設
- ③掘削+結合工
- ④フーチング造成
- ⑤躯体建ち上げ
- ⑥鋼矢板天端切断地表面埋戻し

